

アジア人中腸神経内分泌腫瘍（NET）の臨床病理学的特性に関する多施設共同研究

1. 研究対象となる方

当院で、2017年3月までに外科的切除または内視鏡的切除を受けた中腸および前腸、後腸（十二指腸の一部，小腸，大腸）NETの方が対象となります。

2. 研究の概要

消化管NETで、日本で特に頻度の低い中腸（十二指腸の一部，小腸，大腸の一部）NETの特徴は、全く解析されていません。また、治療薬の効果も腫瘍の部位や人種によって異なることが示されていますが、原因は明確にされていません。そのため、この研究では、患者さんの病理組織や臨床情報を用いて、NETの発生部位による特徴の違いを明らかにするとともに、治療の有効性についての検討を行います。

研究を行うにあたっては、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしもこの研究内容に該当すると思われる方で、ご自身の検査データなどが用いられることにご質問などのある方は、下記のご問合せ先にご連絡ください。

3. 研究の意義

発生部位による特徴の違いや、薬剤による治療効果の違いが判明することで、よりよい治療法の確立につながると考えられます。

4. 研究の目的

本研究は、以下の事項を明らかにするために立案されました。

- (1) 中腸、前腸、後腸 NET の病理組織の特徴について検討する
- (2) 中腸、前腸、後腸 NET の患者さんの背景（年齢・性別，腫瘍の大きさなど）について検討する
- (3) 中腸、前腸、後腸 NET に対する薬剤の効果について検討する
- (4) 上記の(1)～(3)について、日本人と欧米人とで比較を行う
(なお、欧米人との比較は中腸、後腸のみで行い、前腸は使用しない)

5. 研究の方法

カルテに記載された情報をもとに、患者基本情報（年齢，性別など），腫瘍の部位，腫瘍の大きさ，ホルモン関連情報の有無などの情報を抽出します。

また、手術（外科手術・内視鏡的手術）により摘出された検体の残りをを用いて、病理組織の特徴を調べます。

6. 研究における倫理的配慮

本研究実施に係る原資料類および同意書などを取り扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書，学会発表，学術論文においては，被験者を特定できる情報を含めません。もしもこのホームページで公開した本研究内容をご覧になり，研究対象となることに同意されないと連絡された方は研究対象には含めませんし，拒否されても不利益はありません。被験者ご本人またはご家族の中で，本件にご質問のある方は下記にご連絡くださいますようお願いいたします。

研究対象となった方は今後もこの研究のために新たに治療や検査を受けることはなく，医療費がかかることはありません。また研究協力に対して謝礼が支払われることはありません。

また，利用する検体・診療情報などは，患者さん個人が特定できない状態とし，郵送および電子システムを利用して，下記の研究組織に提供します。

【研究組織】

東北大学病院病理部医学系研究科病理診断学分野 藤島 史喜（研究責任者）
ミュンヘン工科大学病理学 笠島 敦子
京都大学医学系研究科肝胆膵・移植外科 増井 俊彦
JNETS（日本神経内分泌腫瘍研究会）協力施設 約100機関

本研究に関する問い合わせ先

香川大学医学部附属病院 腫瘍センター 奥山 浩之
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1
TEL 087-898-5111（代表）

本研究の主幹機関の研究者

東北大学病院病理部医学系研究科病理診断学分野 藤島 史喜
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
TEL 022-717-7440